

福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について

(5・6号機低レベル滞留水の状況)

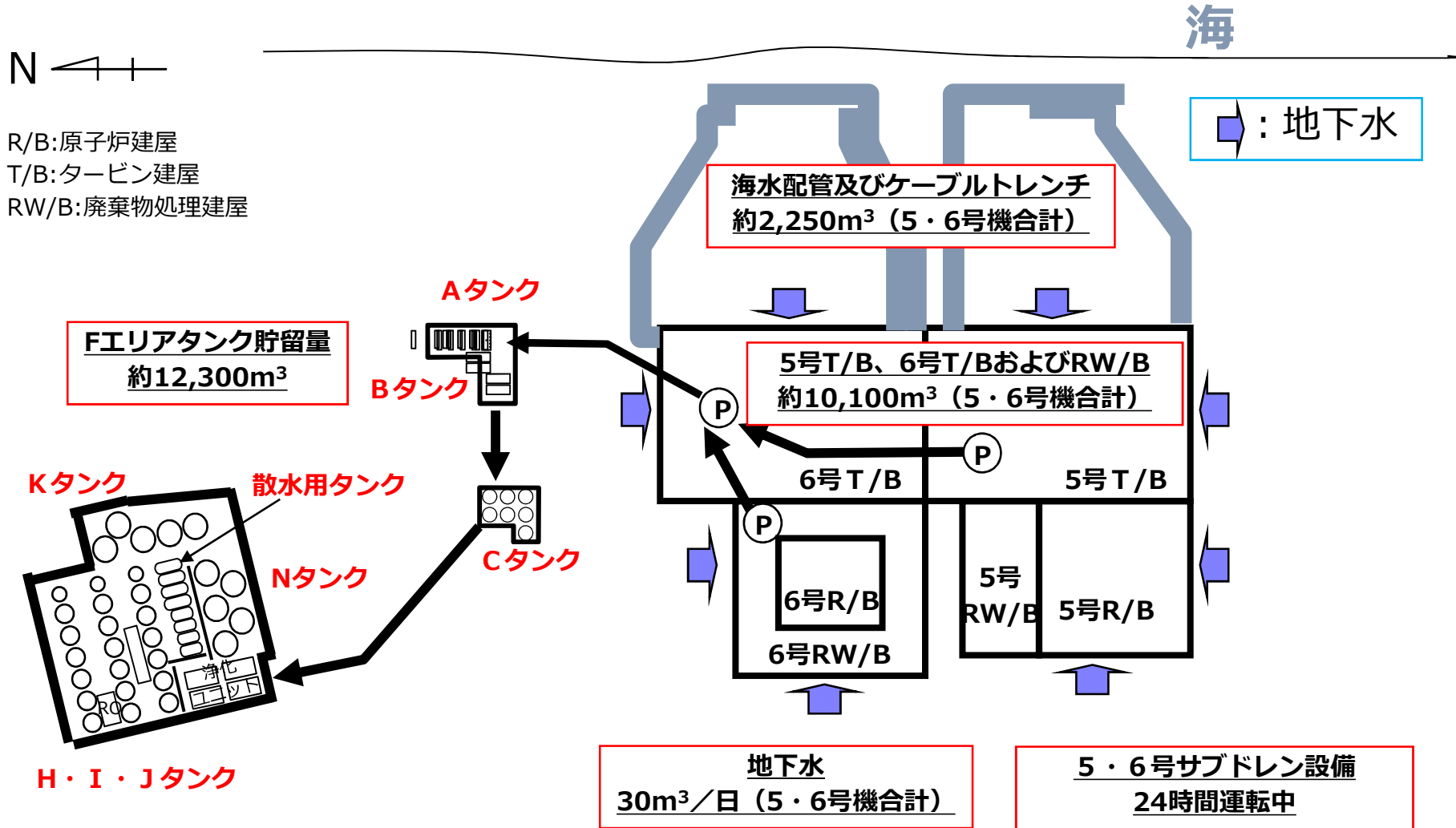
2022年 6月 30日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

1. 5・6号機 低レベル滞留水量※1の状況

5・6号機 低レベル滞留水量の合計約24,650m³ (2022.6.27現在)

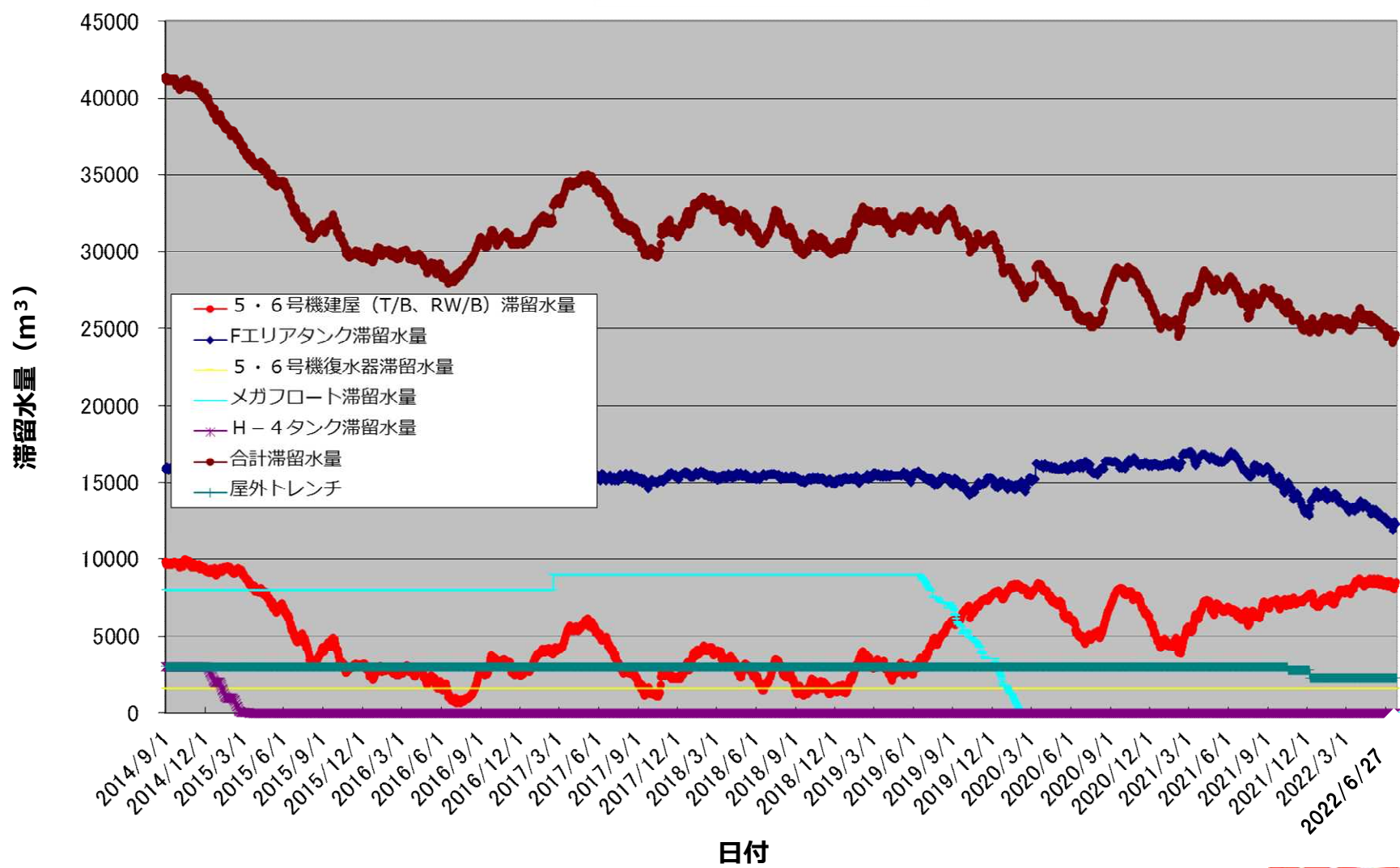


※1 : 5・6号機滞留水は、1-4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

2. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

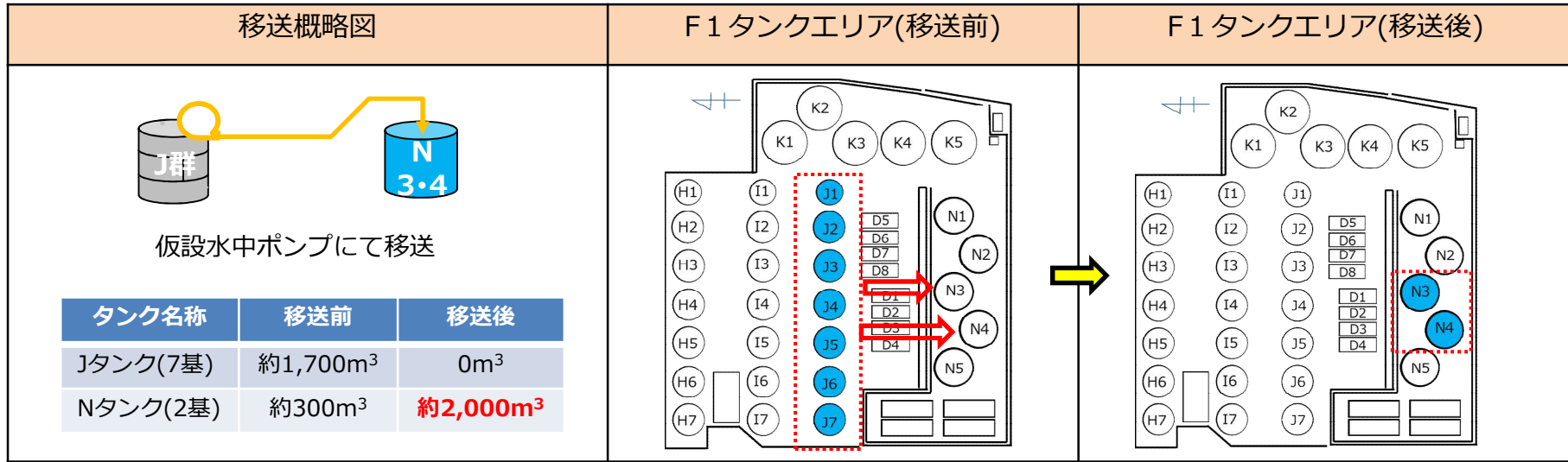
- 2014年9月から2022年6月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり

5・6号機 低レベル滞留水量の推移

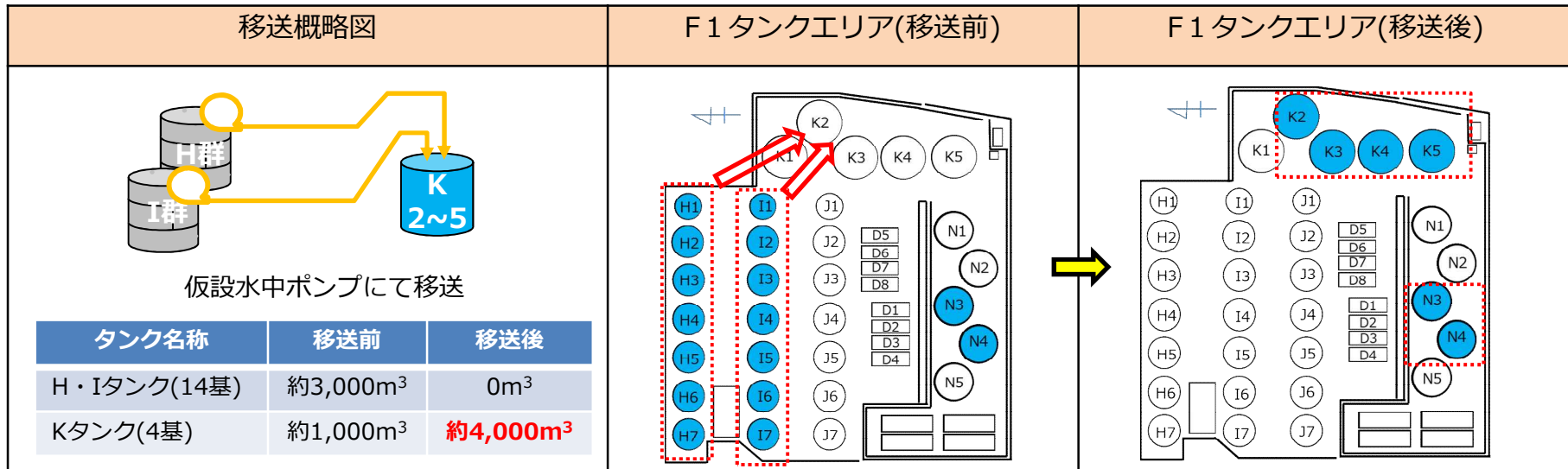


3. F1 タンクエリア群フランジ型タンク内包水移送について

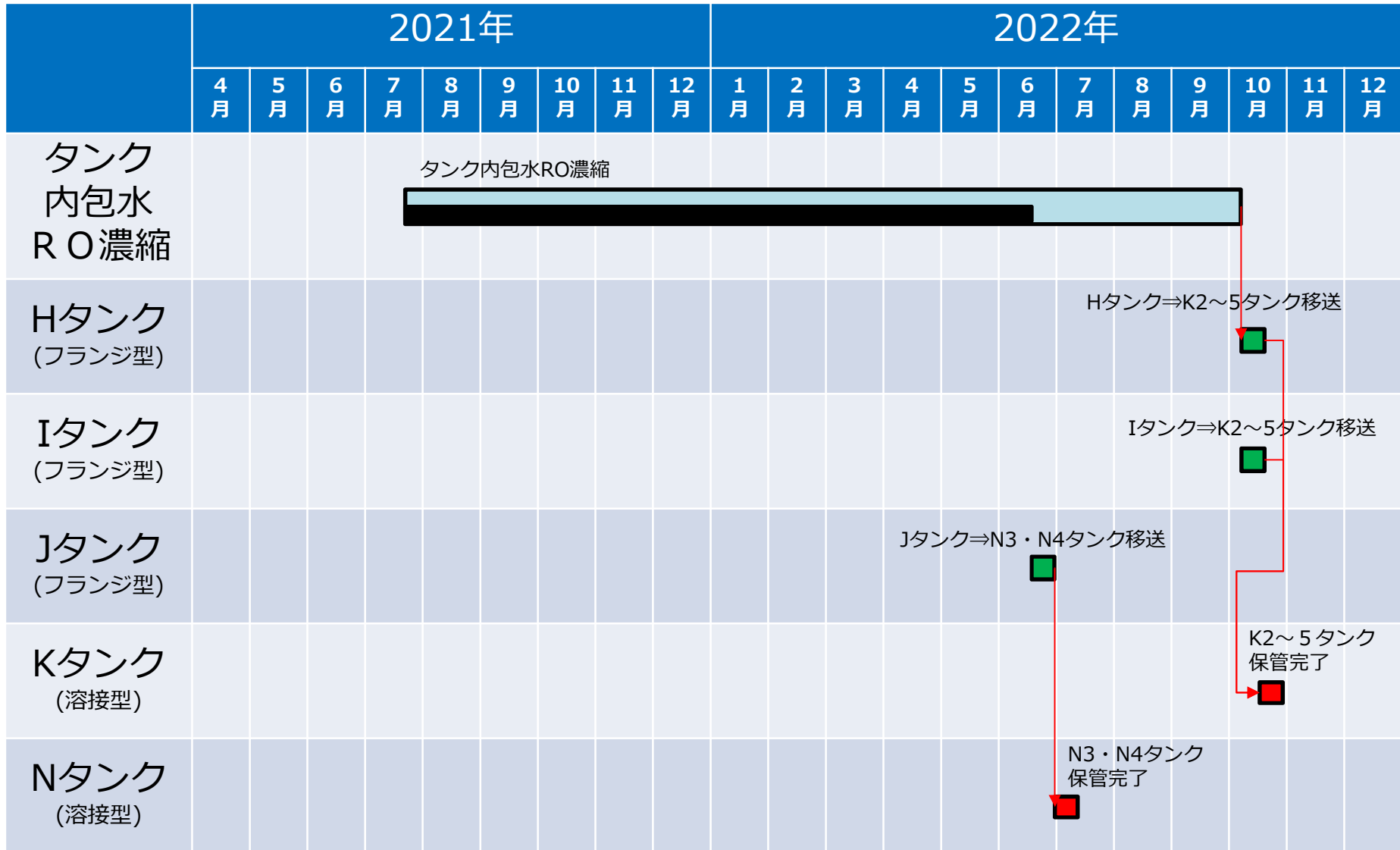
■ STEP1 N3,N4移送 (実施時期：2022年6月～7月)



■ STEP2 RO濃縮後工程を経て、K2～K5移送 (実施時期：2022年10月)



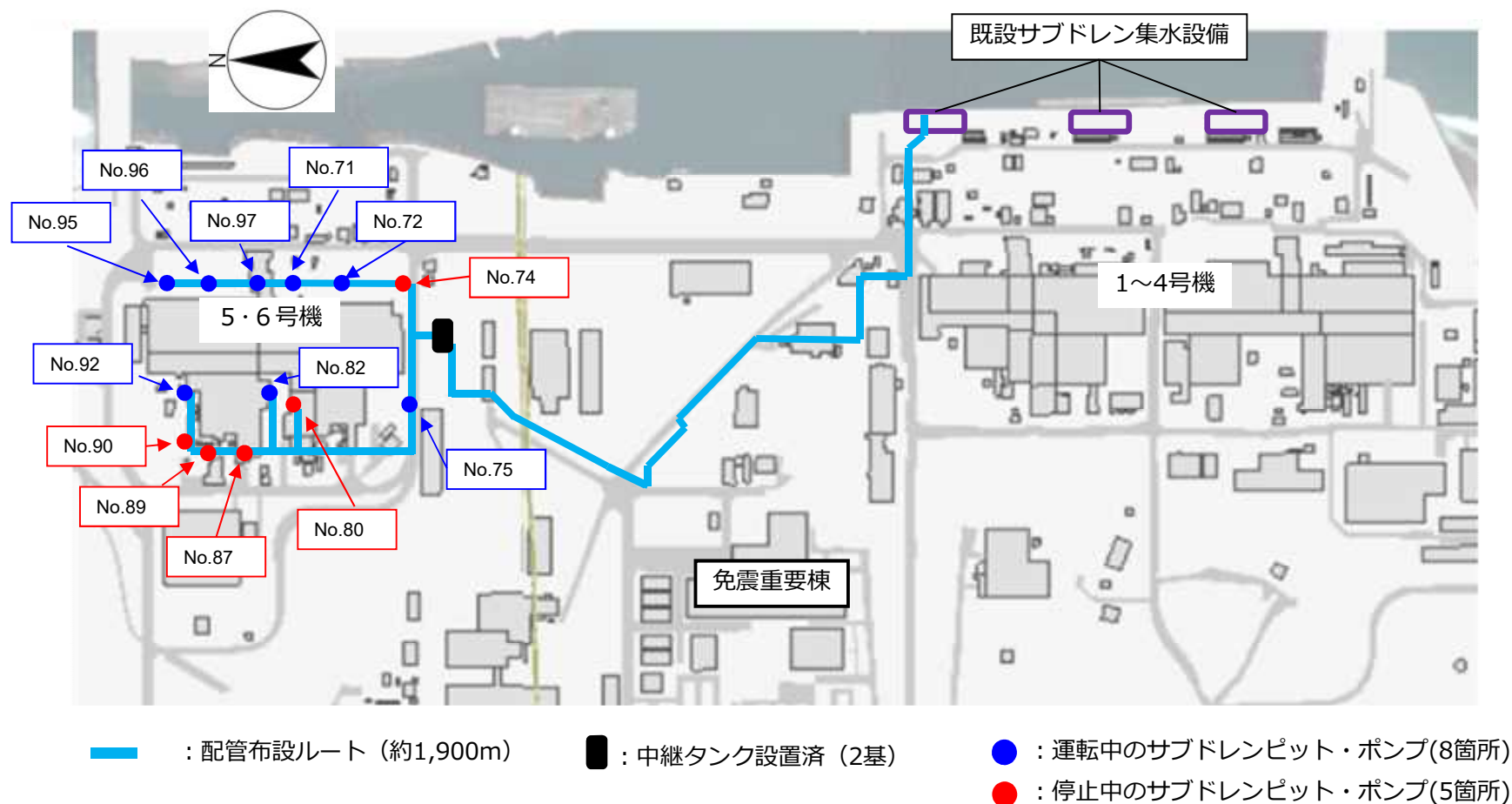
4. フランジ型タンク内包水移送スケジュール



■ : 実績線

<参考> 5・6号機 サブドレン集水設備の稼働状況（2022年6月27日現在）

- 5・6号機サブドレン設備は2022年3月28日より運用（移送）を開始し、現在は24時間運転中※2



※2：汲み上げ量の監視を行いながら、サブドレンピット・ポンプの運転計画を立てている。